

第6 碧南市地球温暖化対策実行計画（区域施策）

近年、産業活動が活発になり、二酸化炭素、メタン、フロン類などの温室効果ガスが大量に排出されて大気中の濃度が高まったことにより、地球温暖化が徐々に進行しています。

本市では、平成23年3月に策定した本計画を平成29年3月に改定し、推進してまいりましたが、社会情勢の変化と新たな視点を踏まえ、令和3年3月に計画の改定を行いました。また、令和5年2月に温室効果ガス排出量の削減目標と削減量の見直しを行いました。この内容に基づき、新たな地球温暖化対策に取り組んでまいります。



1 温室効果ガス排出量の削減目標

本計画では、温室効果ガス排出量の削減目標を国の目標に準じて定めています。

目標年度	温室効果ガス排出量削減目標
令和12年度	基準年度（平成25年度）比46%削減

2 温室効果ガス排出量の現況と推移

(1) 温室効果ガス排出量の現況

本市における温室効果ガスの排出量は、最新の集計結果である令和4年度では740千t-CO₂となり、地球温暖化対策実行計画の基準年度である平成25年度の排出量1,049千t-CO₂と比較しますと、309千t-CO₂（29.5%）減っています。

また温室効果ガス排出量を部門別にみますと、令和4年度では産業部門の二酸化炭素が約63%となっており、排出量の大半を占めています。

(2) 温室効果ガス排出量の推移と部門別割合

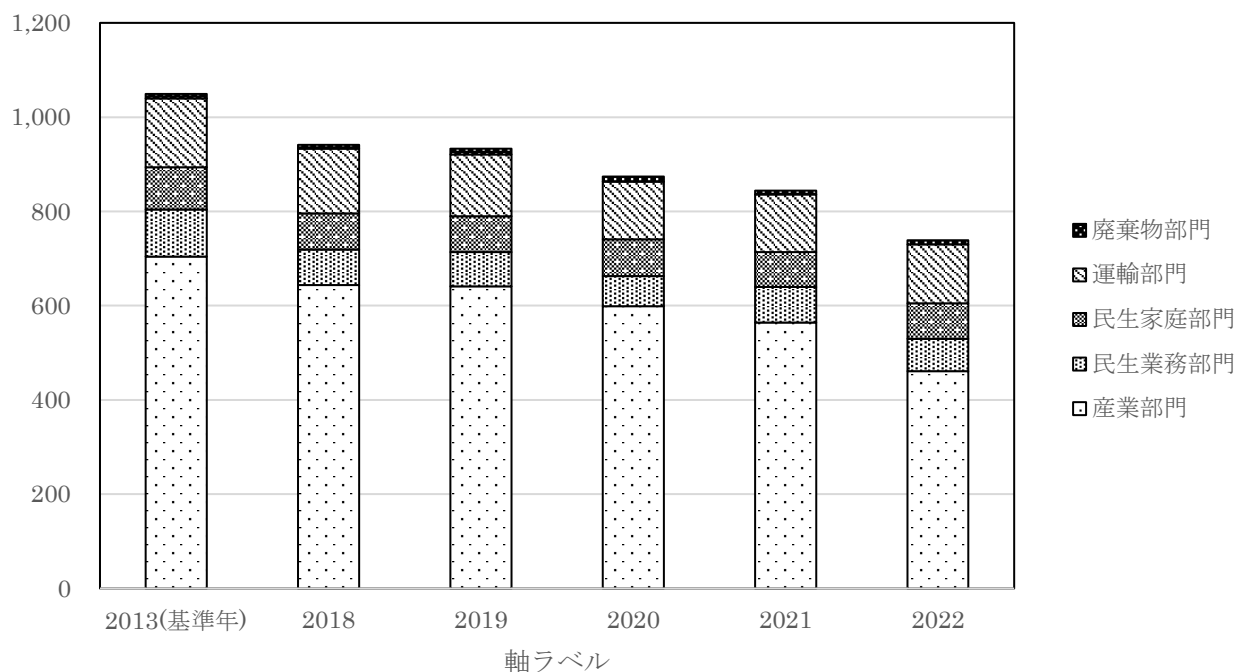
（単位：千t-CO₂）

		平成25年度 (基準年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二 酸 化 炭 素	産業部門	704	644	641	599	564	461
	民生業務部門	100	75	73	64	76	69
	民生家庭部門	90	77	76	78	74	75
	運輸部門	146	137	131	122	122	125
	廃棄物部門	9	8	12	11	8	9
合 計		1,049	963	942	934	873	740

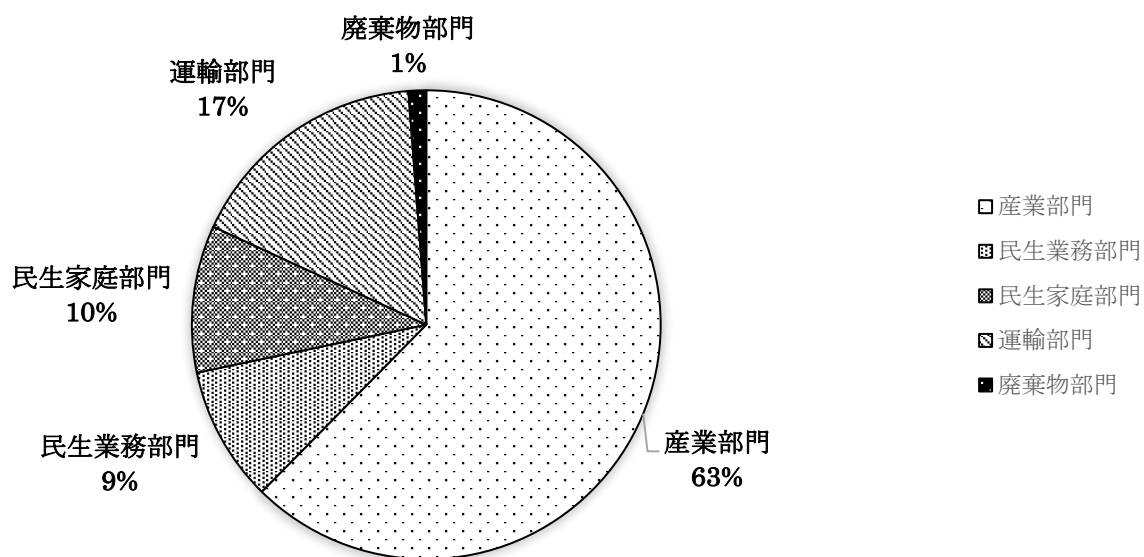
令和4年度温室効果ガス排出量削減状況
基準年度（平成25年度）比 29.5%削減

(千t-CO₂)

碧南市温室効果ガス排出量経年変化



2022年度 碧南市温室効果ガス排出量割合



3 地球温暖化防止に向けた基本施策

地球温暖化防止のため温室効果ガスの排出量を削減する取り組みとして、基本施策に基づき事業を実施しました。

基 本 施 策	主 な 事 業	実 績 (令和6年度実績)
再生可能エネルギーの利用促進	スマートハウス設備設置費補助件数	1 7 1 件
省エネルギーの促進	三州瓦利用促進加算件数（碧南市新築住宅建設等促進補助金）	2 3 件
環境負荷の小さいまちづくり	くるくるバス乗車人数	1 0 9 , 3 5 9 人
	電気自動車充電スタンド利用回数	1 , 9 8 2 回

4 碧南市スマートハウス設備設置費補助事業

(1) 補助金の目的

この補助金は、再生可能エネルギーの利用を支援し、環境保全に対する意識の高揚、温室効果ガス排出を抑制し、地球温暖化防止に寄与することを目的としています。

(2) 補助金交付の対象となる方

市内に住所を有し、自ら居住する市内の住宅に補助対象設備を設置する方。

(3) 補助対象設備と補助金の額

補助対象設備	補 助 率	補 助 金 額
一体的導入（住宅用の太陽光発電システム、エネルギー管理システム及びリチウムイオン蓄電池システムを同時設置する場合）	一律	3 2 万円
一体的導入（住宅用の太陽光発電システム、エネルギー管理システム及び次世代自動車充給電設備を同時設置する場合）	一律	2 2 万円
住宅用燃料電池システム	一律	1 0 万円
住宅用リチウムイオン蓄電池システム	一律	1 0 万円
住宅用次世代自動車充給電設備	一律	5 万円
住宅用エネルギー管理システム	一律	1 万円

(4) 補助実績

(単位：件)

補助対象設備	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
一体的導入（住宅用の太陽光発電システム、エネルギー管理システム及びリチウムイオン蓄電池システムを同時設置する場合）	3 0	4 2	3 9	4 5	4 2
一体的導入（住宅用の太陽光発電システム、エネルギー管理システム及び次世代自動車充電設備を同時設置する場合）	0	2	1	0	0
住宅用燃料電池システム	2 0	7	8	9	6
住宅用リチウムイオン蓄電池システム	8 0	7 4	8 0	8 2	9 0
住宅用次世代自動車充電設備	1	2	3	2	1
住宅用エネルギー管理システム	2 4	2 8	2 1	3 6	2 9
補助件数合計	1 5 5	1 5 5	1 5 2	1 7 4	1 6 8
補助金額合計（千円）	18, 390	20, 260	19, 910	21, 710	27, 880

5 次世代自動車購入費補助金

(1) 補助金の目的

この補助金は、自動車による温室効果ガス排出量の削減及び大気環境の改善に寄与することを目的としています。

(2) 補助金交付の対象となる方

市内で事業用及び個人用として使用する電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車の購入に対し補助を行っています。

(3) 補助対象設備と補助金の額

補助対象設備	補 助 率	補 助 金 額
電気自動車	一律	(事業用) 20万円 (個人用) 5万円
燃料電池自動車	一律	(事業用) 30万円 (個人用) 40万円
プラグインハイブリッド自動車	一律	(事業用) 10万円 (個人用) 10万円

(4) 補助実績

(単位:台)

補助対象設備	R 3	R 4	R 5	R 6
電気自動車（事業用）	4	9	7	5
電気自動車（個人用）	—	2 6	2 4	1 6
燃料電池自動車（事業用）	5	1	0	0
燃料電池自動車（個人用）	—	0	0	0
ハイブリッド自動車 （ユニバーサルデザインタクシーに限る）	0	—	—	—
プラグインハイブリッド自動車 （事業用）	1	3	1 6	7
プラグインハイブリッド自動車 （個人用）	—	1 6	1 9	1 8
補助台数合計	1 0	5 5	6 6	4 6
補助金額合計（千円）	2 4 0 0	5 3 0 0	6 1 0 0	4 3 0 0

※個人用は令和 4 年度新設

6 碧南市カーボンニュートラル推進支援補助金

(1) 補助金の目的

この補助金は、市内中小企業者におけるカーボンニュートラル推進を支援し、持続的な成長及び地域経済の健全な発展に資することを目的としています。

(2) 補助金交付の対象となる方

省エネ診断受診費用及び省エネ・再エネ設備の更新費用に対し補助を行っています。

(3) 補助対象設備と補助金の額

補助対象設備	補 助 率	補 助 金 額
省エネ・再エネ設備の 導入に係る事業	3 分の 1	上限 1 5 0 万円
省エネ診断・CO ₂ 削減 計画の策定事業	4 分の 3	上限 2 0 万円

(4) 補助実績

補助対象設備	R 3	R 4	R 5	R 6
省エネ診断(市独自)	—	—	5	1 5
省エネ診断(上乘せ)	—	—	1	0
省エネ設備導入(市独自)	—	—	1 4	2 8
省エネ設備導入(上乘せ)	—	—	4	1
補助対象件数	—	—	2 4	4 4
補助金額合計（千円）	—	—	1 7, 2 5 3	2 9, 9 2 3

※令和 5 年度新設